

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高齢者福祉課
 担当名: 施設整備担当
 内線: 3268

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
B30	特別養護老人ホーム等整備事業費	一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉施設費	老人福祉施設整備助成費		
事業期間	昭和39年度～	根拠法令	老人福祉法第15条、第24条		針路	89 未来への希望を実現する	SDGsゴール	
				分野施策	890205 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsターゲット		
1 事業概要	社会福祉法人等へ施設整備費を助成することにより、特別養護老人ホームの整備を進めるとともに、老朽化した特別養護老人ホーム、養護老人ホーム及び軽費老人ホームの居室環境等の改善を図り、要介護高齢者の福祉の向上を図る。 ウ 老朽化施設の居室環境等の改善 △613千円							
2 事業主体及び負担区分	(県10/10) 事業者0							
3 地方財政措置の状況	ア、イ、ウ(ア) 施設整備事業債 設備整備費を除く整備費(ユニット部分を除く) 充当率100%、社会福祉施設整備債 事業費総額から施設整備事業債を除いた金額 充当率80%							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×3.5人=33,250千円							
5 事業説明	(1) 事業内容 ア ユニット型施設の整備 施設整備費・設備整備費への補助 (10施設、811人分) 1,365,320千円 イ 混合型施設、従来型施設の整備 施設整備費・設備整備費への補助 (7施設、594人分) 556,856千円 ウ 老朽化施設の居住環境等の改善 改築整備費・大規模修繕費への補助(11施設、586人分) 596,987千円 (2) 事業計画(※ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)は、原則として、初年度目に20%、2年度目に80%の割合で補助を行う。) ア ユニット整備分 (ア) 創設整備 新たに施設を整備 (5施設、572人分) 【補助単価 3,000千円/人】 (イ) 増床整備 増築を行い定員を増加する整備 (4施設、231人分) 【補助単価 2,160千円/人】 (ウ) 改修増床 増築を行わず改修で定員を増加する整備 (1施設、8人分) 【補助単価 1,000千円/人】 イ 混合型従来型整備分 (ア) 創設整備 新たに施設を整備 (5施設、510人分) 【補助単価 3,000千円/人】 (イ) 増床整備 増築を行い定員を増加する整備 (1施設、72人分) 【補助単価 2,160千円/人】 (ウ) 改修増床 増築を行わず改修で定員を増加する整備 (1施設、12人分) 【補助単価 1,000千円/人】 ウ 老朽化施設の居住環境等の改善 (ア) 改築整備 既存施設を取り壊して新たに施設を整備 (5施設、280人分) 【補助単価 3,000千円/人】 (イ) 大規模修繕 既存施設の改修・改造工事 (6施設、306人分) 【補助単価 1,000千円/人】 (3) 令和4年度補助事業により、広域型特別養護老人ホーム592人分の定員増が図られる。 【参考】 広域型(県補助整備) 広域型(県所管自費整備) その他 合計 累計 平成30年度 597人分 27人分 373人分 997人分 36,354人 令和元年度 250人分 27人分 390人分 667人分 37,021人 令和2年度 274人分 42人分 622人分 938人分 37,959人 令和3年度 280人分 12人分 47人分 339人分 38,298人 ※その他は、広域型(政令市・中核市整備分)及び地域密着型。 (4) 変更点 入札執行による差金が生じたことによる減							
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	△613	県債					△613	2,519,163
現計額	2,519,776	2,519,000					776	

事業内訳書

事業名	特別養護老人ホーム等整備事業費		
単位事業名	老朽化施設の居室環境等の改善	予算額	△ 613千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△613	—	入札執行による差金が生じたことによる減。
合計	△613	—	